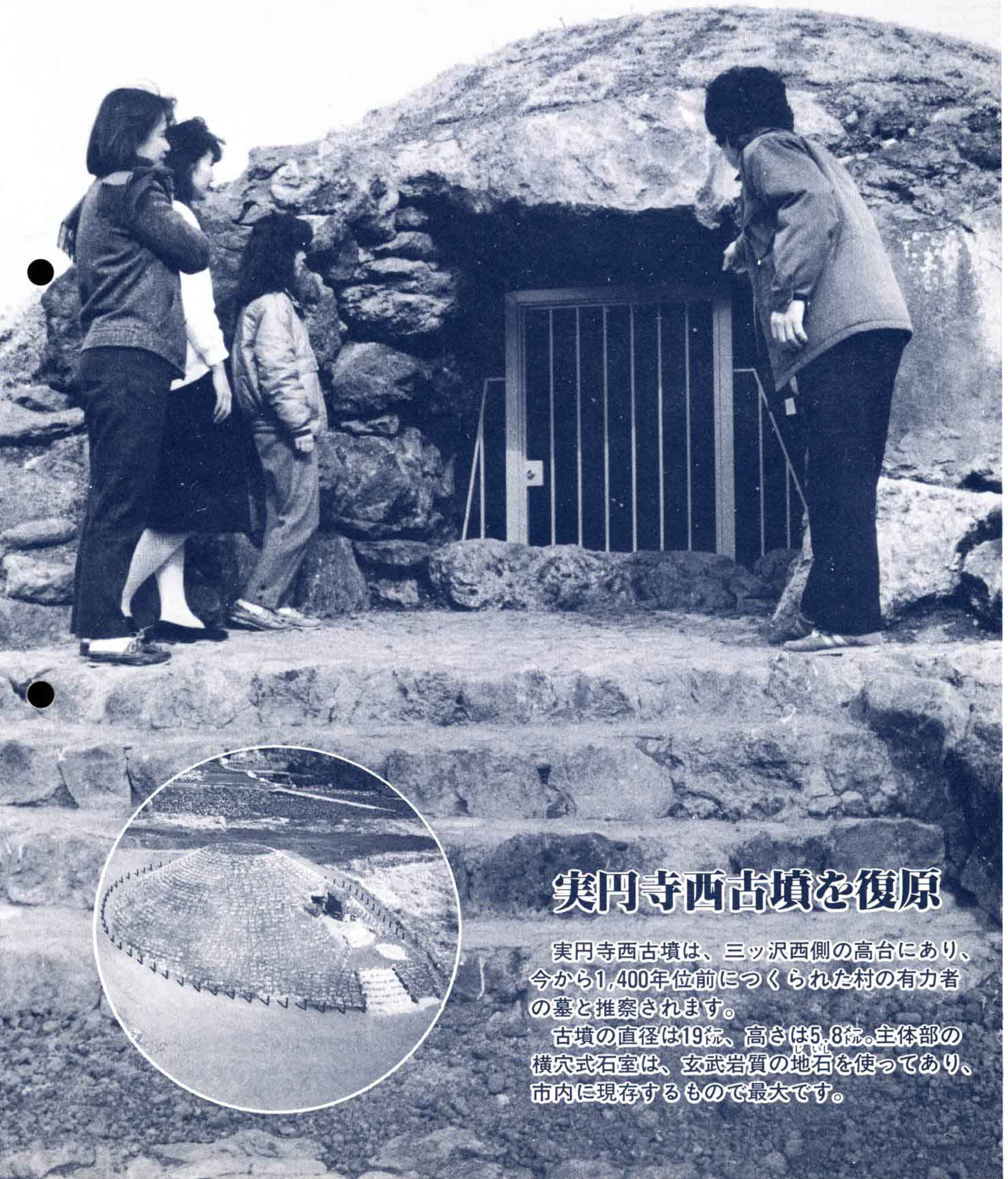


広報

ふじ

61.2.25

No. 428



実円寺西古墳を復原

実円寺西古墳は、三ッ沢西側の高台にあり、今から1,400年位前につくられた村の有力者の墓と推察されます。

古墳の直径は19㍍、高さは5.8㍍。主体部の横穴式石室は、玄武岩質の地石（いわい）を使ってあり、市内に現存するもので最大です。



富士総合運動公園完成予想図

緑豊かな運動公園に

70年までに60億円をかけて整備

大淵中野地先にある総面積26ヘクタールの総合運動公園は、来年度から昭和70年度までの10年間に、総事業費60億円をかけて整備していく計画ができました。

この計画に示されたこれから整備される施設は、野球場、陸上競技場、テニスの改修をはじめ、温水プール、総合体育館、各種広場などです。

昭和70年度までの計画で総合運動公園は、市民レクリエーションスポーツの基幹公園として、緑豊かな運動競技施設となります。

憩いの場としての 役割も果たす

余暇時間は、週休2日制の導入などにより増加の傾向を示しています。

また、余暇の内容も金銭消費型から金銭節約型の健全なレクリエーションへと変化しています。

中でも身近な日常生活圏のレクリエーションスポーツ活動の需要の増大に、その特徴が出ています。

しかし、以前からレクリエーションの場であった原っぱ、樹林などは減少していることも事実です。

このようなことから都市にある運動公園は、単なるスポーツ施設の整備だけでなく、身近なレクリエーションの場としての役割も果たすことが求められています。



施設計画

総合体育館 (S68~70年度)

公園内にすでに設けられている勤労者体育センターの利用状況を見ると、平日の午後は利用率が低いが、午前中は比較的高く、夜間、休日及び土曜日は大盛況の状態です。

昭和68年度から3ヵ年で24億円をかけて建設される総合体育館は、延べ床面積が1万平方メートルでバスケットコートが3面とれます。

また、付帯施設として更衣室、シャワー室、会議室のほかに観客席も設け、市内及び東部地域の主要な大会を開催できる体育館にします。

温水プール (S62~63年度)

市内にはプール施設として、中央公園に市民プールが設けられていますが、総合運動公園内には、第1清掃工場からの熱供給を受け、年間を通してだれもが使用できる温水プールの建設を進めます。

野球場 (S66~68年度)

現在のメインスタンド及び内野スタンドの収容人員は3,400人で十分とはいえません。

また、スタンドが盛土形式のため、選手、役員の出入りに問題がありますので、メインスタンド及び内野スタンドの改修を計画しています。

野球場利用者から要望の強い夜間照明もあわせて計画しています。

陸上競技場 (S62~64年度)

競技場のトラックは、維持管理面を考慮して全天候型トラックに改修します。

スタンドについても2階建3,000人収容のスタンドを新設し、すでにあるスタンドと合わせて4,000人収容のスタンドを設けます。

テニスコート (S64~67年度)

テニスコートは、試合コートのスタンドとナイター設備がないので、これを設けていきます。

クレーコートの6面についても、全天候型に改修します。

試合コートのスタンドは収容人員1,000人で、現在のAコートに計画しています。

広場、レクリエーション施設 (S61~70年度)

メイン広場は、総合運動公園の表玄関にふさわしい特色と、広がりを持った広場にします。

運動公園の動的イメージを演出するモニュメントの配置や休憩する場所には、雄大さと潤いを表現する滝を造り、水と緑で明るく健康的な雰囲気のある広場を考えています。

これ以外に、スポーツ後の休憩やくつろぎを得られるようなサブ公園、中庭的なイメージの噴水広場、園内に残された自然地形を利用した散策路を設け、自然に接する場としての子供の山、古墳広場、芝広場、ポケット広場とそれぞれ特徴をもった広場を建設していく計画です。

総合運動公園は、これらのことも十分考えに入れて計画しましたので、運動競技施設は、公式競技のできる施設としますが、滝のあるメイン広場、子供の山、噴水広場などの各種広場も造りレクリエーションスポーツを楽しむ場所にします。

運動公園として最適地

総合運動公園は、吉原市街地から北へ4キロメートル、富士駅から北東へ6キロメートルの富士山麓の緑に囲まれた丘陵地に位置しています。

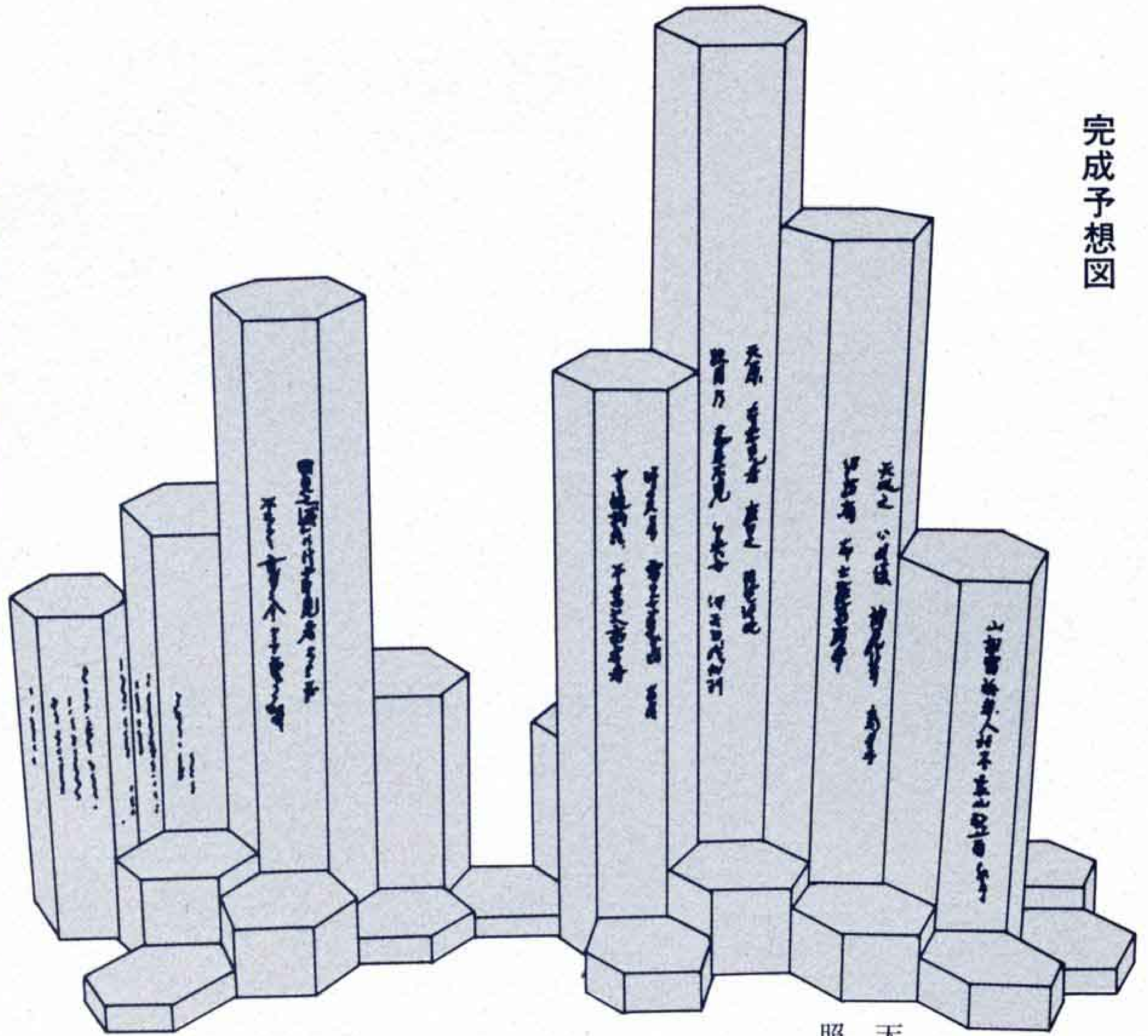
標高は約170メートルで富士市街地や駿河湾、富士山を一望でき、晴れた日には伊豆半島が見えるなど、眺望が開けた場所です。

昭和48年に野球場の整備が始まり、それ以後、陸上競技場、体育センター、テニスコート、相撲場がオープンし、市民のみなさんに利用されています。

昨年度の年間利用者は8万7,000人もありました。

また、隣接して120人の宿泊施設を完備した富士ハイツもあり、レクリエーションスポーツの拠点になりつつあります。

完成予想図



海の玄関に

富士山の歌碑

カーフェリー発着場近くに

三月完成予定

市教育委員会は、郷土の貴重な歴史文化を後世に伝えるため、万葉集の中でも有名な山部赤人やまべのあかひとの詠んだ「富士山を望む歌」の歌碑を建立します。場所は、市内前田の駿河湾カーフェリー発着所入口近くで、完成は3月中旬の予定であり、観光資源としても大いに期待されます。

また、赤人の歌を平井康三郎氏が作曲した、交声曲「不尽山を見て」を、3月23日、文化センターで行われる「しずおかのうたを訪ねて」の中で今泉混声合唱団が発表します。

山部赤人について

奈良時代の歌人で、朝廷に仕え、万葉集に多くの歌を残しています。歌碑となる歌は、おそらく赤人が仕事で東国を旅した時に詠んだものと思われます。

(現代読み)

山部赤人 富士山を望む歌

天地の 分れし時ゆ 神さびて 高く貴き

駿河なる 富士の高嶺を

天の原 振りさけ見れば 渡る日の 影も隠らい

照る月の 光も見えず 白雲も 行きはばかり

時じくぞ 雪は降りける 語りつき

言い継ぎ行かん 富士の高嶺は

田子の浦ゆうち出でて見ればま白にぞ

富士の高嶺に雪は降りける



交声曲「不尽山を見て」を練習する今泉混声合唱団

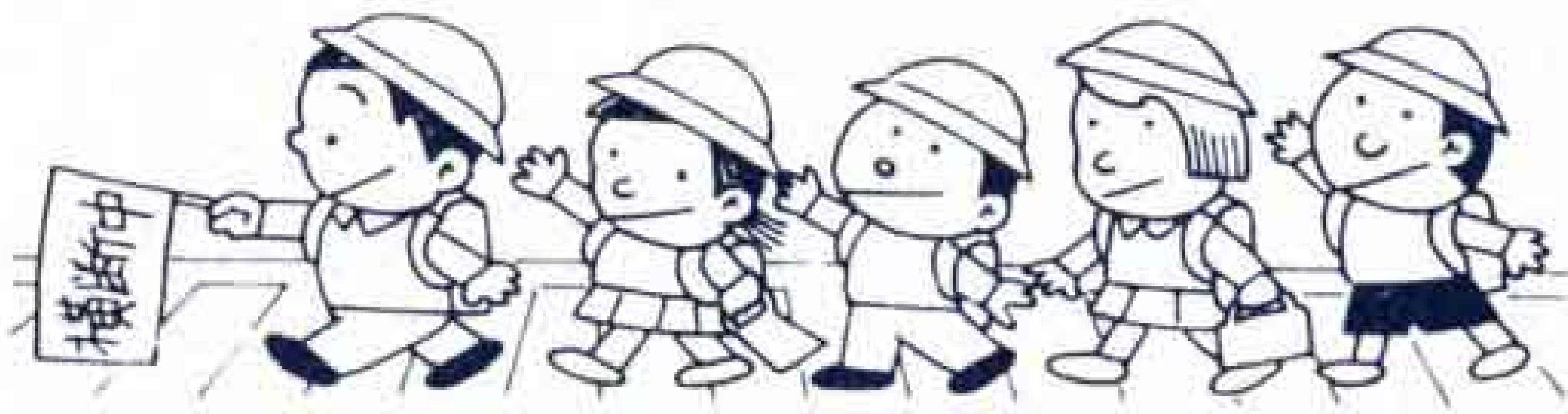
しずおかのうたを訪ねて

～富士山をうたう～

とき 3月23日(日) 13:30～
 ところ 富士文化センターホール
 入場料 300円
 共催 しずおかのうた実行委員会
 (財)富士市施設利用振興公社
 問い合わせ先 市教育委員会文化体育課 ☎51-0123 内線610

1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります

新学期を控えて



子供の交通事故防止



家庭でのしつけポイント

新入学(園)まで、あとわずかです。

いつでも、どこでもお子さんが安全に行動できるようにするためには、日常生活の中での、日ごろの家庭でのしつけが大切です。

子供を交通事故から守るために、知ってもらいたいこと、ぜひお子さんに教えてもらいたいことをまとめてみました。

具体的な教え方を

●実際の体験を通して教えることが大切です。

通学、通園時間に合わせて、お子

さんと一緒に通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導するようにしましょう。

●子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といっても、あまり効き目はありません。安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

●道路を横断する前や曲り角では、必ず止まる習慣をつけて注意深い子供に育てましょう。

●道路で遊ばないように、ふだんから注意しましょう。

最近では、裏通りを通る車が多くなっています。一層の注意が必要です。

●寝る前に翌日の準備を済ませるように習慣づけ、登校時間に余裕をもたせるようにしましょう。

あわてて登校し、忘れ物に気づいて家に引き返す途中で、事故に遭うケースがしばしばあります。

帰宅後の遊びにも注意を

●帰宅後、遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかり守らせるようにしましょう。

●自転車を利用する場合には、子供の年齢や体力に適したものを遊び、ときどきお子さんといっしょに点検や整備をしましょう。

生活にゆとりを



また、子供が毎日の生活で時間のゆとりを持つことも、交通事故に遭わないための大切なポイントです。



お子さんが、家庭での毎日の楽しい語らいの中で、正しい交通ルールを理解し、大人のお手本を見て、安全な行動を身につけられるように、温かい愛情をもって指導してあげてください。

ドライバーのみなさんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要です。

ぜひ、次の点を厳守してください。

●子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目

にし、徐行運転を!

●子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を!

●発進、後退のときは、周囲に子供がいないかを確認!

●左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいないことを十分確かめて徐行を!





◀おかあさんは一生懸命うたいました

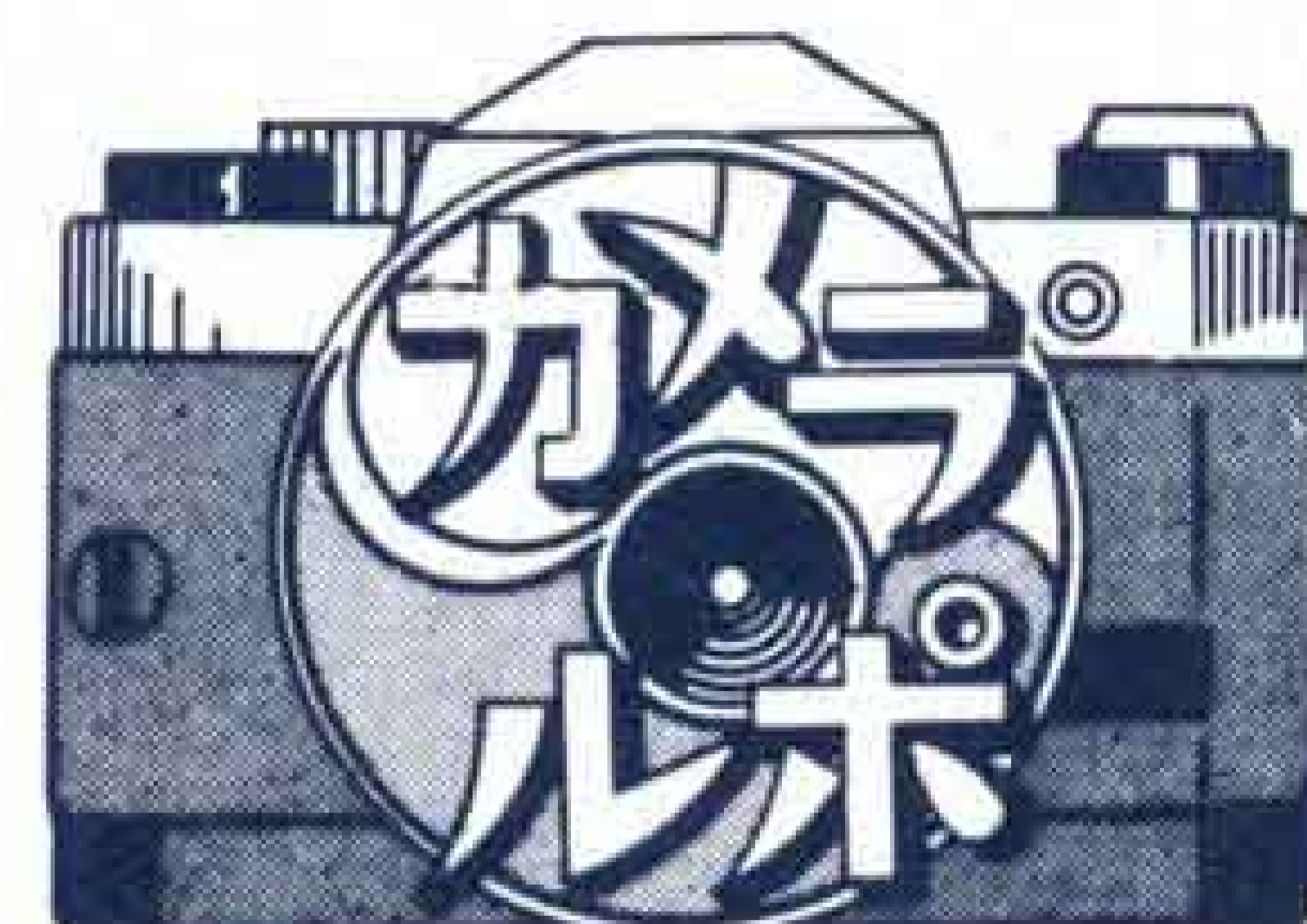
PTAのつどい

おとうさん、おかあさんも熱心に勉強

「第9回富士市PTAのつどい」が、2月9日吉原市民会館で行われました。

昨今、子供たちをめぐるいろいろな問題が取りざたされている中で、今回は「すなおな子供は明るく平和な家庭から」を標語に開かれました。

共同通信編集委員、斉藤茂男氏の「子供たちの明日のために」と題した講演やPTA実践活動の報告のあと、地道に練習を続けてきたコーラスの発表が行われました。



▲1,000人を前に熱弁の講師



◀熱心に耳をかたむける参加者

1、富士山のように 強く 正しく きまりを守り 平和で安全な社会をつくります

青年団活動の 成果を発表

青春キャッチアイ！をテーマに第19回青年祭の発表部門が、2月2日市民会館で行われました。

青年団活動を通しての意見発表。音楽、演劇などの披露を初めての試みとして。テレビ番組「うわさのスタジオ」の司会者、酒井広さんの講演もあり、参加者の熱い視線がそそがれていました。



▲若者らしくダンスの発表



▲青年の主張

福は内 鬼は外

季節のうつりかわる時、特に冬から春にか
わる立春の前日、節分ひいらぎ いわしといって柵の枝に鰯の
頭を刺したものを戸口に立て、鬼打豆おこうちまめと称し
て炒った大豆をまく習慣があります。

ここ毘沙門天でも、学校から帰ってきた子
供たちやおかあさんたちが、「福は内、鬼は外」
といってまかれた豆、みかんなどを袋いっぱい
ひろっていました。

四季の節分は
おかしな節分
おかしな節分



◀すわったほうがたくさん拾えるよ



「紙のモニター」募集

ことしで2年目を迎える「紙モニター制度」は、紙について広く一般消費者の声を聞き、これを行政や業界に反映させ、地場産業の振興をはかることをねらいとした制度です。

昭和61年度「紙モニター」の募集要領は次のとおりです。

応募資格 市内に、引き続き1年以上住所を有する満20歳以上の男女。

募集人員 20人以内

募集期間 3月10日から20日まで

委嘱期間 4月1日から昭和62年3月31日まで(1ヵ年)

応募方法 はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号及び各種モニター経験の有無、応募した動機等を記入してください。

申込先 〒417 市内永田町1-100 市役所商工農林部工業課

選考方法 地域別等を考慮しながら選考します。なお、委嘱をお願いする場合は、直接本人に通知します。

問い合わせ先

市工業課 ☎51-0123 内線405

市民文化財めぐり

とき 3月26日(水) 雨天実施

コース 市役所→雁堤→実相寺→瑞林寺→曾我寺→博物館→永明寺→竹取塚→浅間古墳→阿字神社→ディアナ号の錨→市役所

対象 市内在住または在勤の人

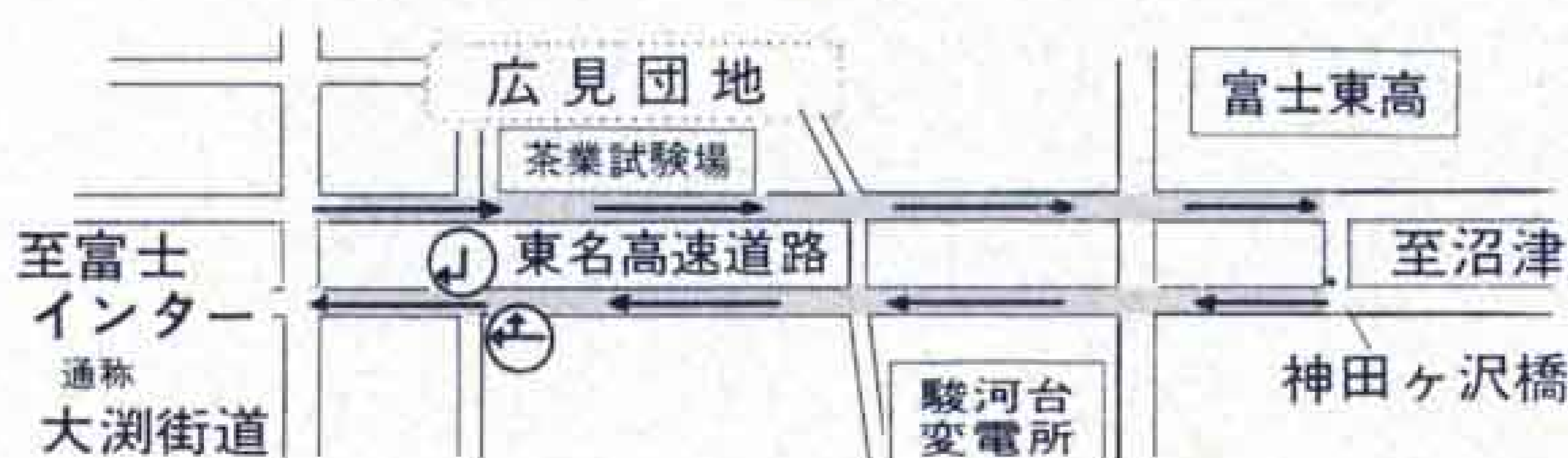
募集人員 100名(申し込み順)

3月1日から

東名側道の一部が一方通行に

凡例 → 一方通行

⤴ ⤵ 指定方向外進行禁止(7:20~7:50)



参加料 大人1,000円
小人 500円(中学生以下)

もちもの 昼食、水筒、タオル、雨具、ビニール袋、軽装で運動靴

申し込み期間 3月17日~19日

申し込み先 市文化体育課(市役所7階)へ、直接、参加料を添えて申し込みください。(9時から16時まで ☎51-0123 内線610)

軟式テニス教室

開設期間<初心者> 4月4日~7月25日 毎週金曜日 19:00~21:00

<中級者> 3月4日~6月24日 毎週火曜日 19:00~21:00

会場<初心者> 勤労者体育センター **<中級者>** 県立富士高校テニスコート

対象者 富士市在住または、在勤者 中級者は初心者卒業程度

定員 初級者60人 中級者60人

内容 ラケットの握り方から試合のできるまで。初心者大会計画。

受講料 一般5,000円

申し込み方法 はがきに住所、氏名、年齢、勤務先、電話番号を記入し、〒416 市内森島102-11 佐藤昇一あてに申し込んでください。

問い合わせ先 ☎61-5571(佐藤)

NHK学園生徒募集

NHKの放送を利用した、だれでも学ぶことができる講座です。

高校普通科コース 高卒資格が取得できます。

教養コース 卒業資格を必要としない人のためのコースです。

海外特科生コース 海外に在住する高校生や社会人のためのコースです。

生涯学習講座 漢詩、簿記、写真、囲碁、園芸、俳句など趣味・教養の22講座があります。

問い合わせ・案内書の請求先

はがきに希望コースを明記して、〒420 静岡市西草深町1-21 NHK静岡放送局NHK学園係へ。

☎0542-54-4171(代表)

所得税の確定申告と納税は3月15日まで

昭和60年分の所得税の確定申告と納税はもうお済みでしょうか。

特に本年は、3月15日が土曜日でもあり、一層の混雑が予想されますので、早期申告にご協力ください。



「男女雇用機会均等法セミナー」の開催

とき 3月18日(火) 13:30~15:30

ところ 静岡労政会館

受講料 無料

申し込み・問い合わせ先

県労働福祉課 ☎0542-21-2818

防火作文コンクールの入賞者

小学校の部

市長賞	小塚 千雪	吉永一
議長賞	友田かずみ	吉永一
教育長賞	赤池 真弓	岩 松
消防長賞	大久根弘人	鷹 岡
協会長賞	秋山 晴美	神 戸
"	伊東 晶子	広 見

中学校の部

市長賞	佐野 仁美	吉原北
議長賞	古屋 洋子	吉原二
教育長賞	荻野 雅代	吉原三
消防長賞	山本 晴彦	吉原一
協会長賞	大久根絹子	岳 陽
"	勝又 美佳	南

暮らしのたより

我が家のアイドル

応募先
富士市永田町一〇〇
市広報広聴課



賞正
昭和61年元旦
ゆき
増田友紀 S57.6.9生
よしのり
増田好紀 S59.7.18生
父・忠雄 母・文香(蓼原)
「今年もよろしくね!!」



はるか
土屋遥香 S59.10.17生
父・陽亮 母・昌子(岩本)
「お陰できれいになりました」



勝亦亜希 S60.6.12生
ひろみ
父・啓己母・容子(五貫島)
「かわいい私たちの妹
亜希です」



ゆうき
大見祐輝 S60.3.21生
父・登 母・ちづる(宮島)
「ちょっとおすまし。パ
パかわいく撮ってね」



渋谷拓也 S60.2.21生
ちあき
父・千明母・由貴(三ッ沢)
「我が家のボスです。ヨ
ロシクネ!」



遠藤祐治 S57.1.10生
遠藤香織 S58.8.28生
父・謙二 母・香苗(高嶺町)
「すくすく育っています」



いちのせゆうすけ
一瀬友祐 S60.5.23生
たかふみ ちはる
父・貴文母・智晴(三ッ沢)
「ぼくの愛車です。と言
っているユウスケ」



めぐみ
和田恵美 S59.2.19生
和田紗織 S60.10.12生
父・淳 母・ひろみ(柚木)
「世話やきの姉さんと」

船員遺族の皆さんへ

職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援護金が支給されます。中学校卒業まで、1人1ヵ月6,000円 小学校入学記念として30,000円

ただし、生活困窮者に限ります。
申請・照会先
財日本殉職船員顕彰会 (東京都千代田区麴町4-5海事センタービル内)
☎03-234-0662

ちびっこ探険学校 ヨロン島

とき 3月26日(木)~4月2日(水)
ところ 与論島と沖縄
対象 小学校3年~6年生 360人
締め切り 3月12日(水)

申し込み・問い合わせ先
財国際青少年研修協会
☎03-359-8421

「勤労青少年の日」 ポスター募集

テーマ 職場にキラリ!君の青春
締め切り 4月10日(木)
問い合わせ先 東部労政事務所ポスター募集係 ☎0559-20-2181

建設業退職金 共済融資制度

建設事業主等が福利厚生施設を設置(購入)する場合、建設業退職金共済事業本部では資金を融資しています。
問い合わせ先 〒105 東京都港区芝

公園1-7-6 中退金ビル7階 建設業退職金共済事業本部融資室
☎03-436-0151

ハレーすい星を見る会

とき 3月21日(金)と22日(土)の2回。両日とも朝の4時から行う。悪天候時の予備日は25日(火)です。
ところ 少年自然の家の屋上
対象 星に興味のある家族50組
持ち物 上履き、防寒具
申し込み・問い合わせ先
市立少年自然の家 ☎35-1697

民話テレホンサービス ☎53-1111

◆3/17~3/23
鑑石園のかがみ石(吉原三中)
◆3/24~3/30
伝法滝下のかんかん堂(吉原一中)

富士の今と昔 ⑬

この橋は江戸時代から「三度橋」と呼ばれ、東海道の交通に大きな役割を果たしてきました。明治10年、橋を架けかえて「富安橋」と名を変えました。現在の橋は、昭和9年にできたものです。



富安橋と中央病院

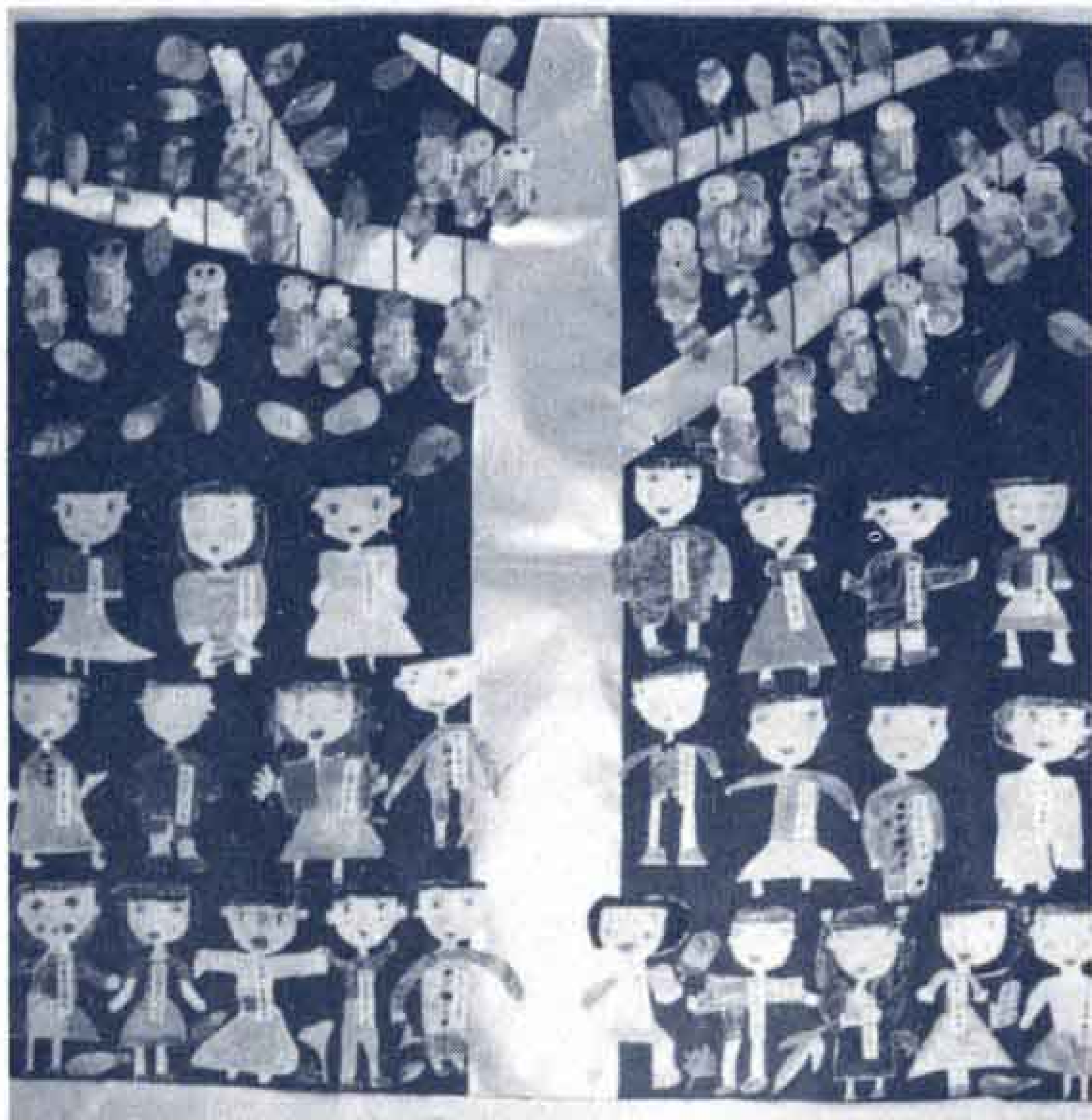
明治時代の富安橋(写真提供 奈木盛雄氏)



ぼくらの作品 わたしの作品



落ち葉拾いに行ったら、いろいろな色の葉っぱがありました。みのむしの葉っぱはしわしわで、作るのがむずかしかったよ。
——みんなで作った鈴川幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



キャプテン 登場 富士高等学校 郷土研究部 ④

文・井原祐樹(三年)



郷土研究は決して華やかなものではなく、地味で忍耐強さを要求される研究活動であります。ただ、5月の富嶽祭(学校祭)と秋の東部高等学校郷土研究連盟の研究発表大会が私たちの晴舞台となります。とりわけ秋の研究発表大会へは、1年間のすべての活動エネルギーを集中して頑張ります。本年度は11月10日、沼津市立高校で実施され、私たちは「富士地区の工業化と製紙業の現況」というテーマで臨みました。顧問の植松先生の指導をいただき、部長の荻原健二君をはじめ坂本、島本、齊藤(以上富士中)知念(田子浦中)の2年生諸君を中心に、1年生諸君が協力して、図表、スライドを使用して、その研究内容、発表態度を競った結果、最優秀校に選ばれました。昨年の「加鳴開発と富士川の治水」について5年連続のチャンピオンの地位を維持しました。

5月からの市役所工業課、市内製紙工場、県立中央図書館での調査活動、資料作製、と多忙で苦しい日々でした。“郷土に対して一層の理解と愛着を深めること”をモットーにして、荻原部長のリーダーシップと明快な話術、部員のチームワークが成果につながったと考えます。